南田中小学校授業改善推進プラン

令和元年度

練馬区立南田中小学校

学力向上を図るための全体計画

日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指道要領

東京都 教育委員会 教育目標

練馬区 教育委員会 教育目標

学校の教育目標

- \bigcirc 考え表現する子
- \bigcirc 助け合う子 \bigcirc がんばり抜く子

児童の実態 指導計画と評価計画 全国・都の学力調査 の結果

保護者や地 域の期待・ 願い

社会の要請 多様な教育課題

学校標語 「笑顔かがやき 優しさいっぱい」

学校経営方針(学力向上に関わる要点)

- 「分かる・できる授業」による基礎基本の定着
 - 授業のユニバーサルデザイン ・個に応じた指導の工夫 ・算数習熟度別少人数指導(全学年で実施)
- 「主体的、対話的で深い学び」を促す授業の推進
 - ・言語能力の確実な育成
 - ・児童の学習への意欲や思考、判断力および表現力を高める
 - ・既存の知識、技能を活用しながら自ら課題を発見し解決に向けて学習の仕方を身に付ける。(問題解決的な学習)
- 読書の習慣化と読書教育の充実
 - ・南田中図書館、学校図書館の活用
 - ・朝読書の全校取組
- 幼保小連携教育、小中一貫教育の推進

各教科の指導の重点

- ・基礎的・基本的な知識および技能の 確実な習得
- ・算数習熟度別指導の推進、東京ベー シック・ドリル診断シートの活用
- ・課題発見と課題設定の工夫
- ・意欲を引き出す過程の重視
- ・互いに認め合い、学び合う場の設定
- ・多面的に物事を考える場や自分の考 えを発表する場の設定
- ・体験的な学習や問題解決的な学習の 推准
- ・補充的、発展的な指導の充実
- ・よさや可能性を伸ばす評価の工夫

総合的な学習の時間の指導の重点

- ・実社会や実生活との関わりを重視 した探究的な活動の推進
- ・自ら課題を見付け、自ら学び、 自ら考える活動の展開
- ・学び方やものの考え方を身に付け る活動の推進
- ・各教科等との関連による深化
- ・自ら学ぶことの習慣化

外国語活動における指導の重点

- ・言語や文化に対する理解を深 め積極的にコミュニケーショ ンを図ろうとする態度の育成
- ・外国語に慣れ親しみ、学ぶ意 欲やコミュニケーション能力 の向上

南田中小学校における育成すべき資質・能力の育成

どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るのかを考えることができるようにする。 o 白律的活動力 自己実現力 人間関係、構築力 o社会貢献力 知っているこ と、できること 何を知ってい どのように学ぶか をどう使うか るか、何ができ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 (思考力・判断 るか(個別の知 力・表現力等) 識・技能)を明 学習評価・カリキュラムマネジメントの充実 を明確にする。 確にする。 基本的か生活能力 ○基礎・基本 「学習習慣など」

【学力向上を図るための基本方針】

「基本的な生活習慣」

- ○「主体的に学びに向かい合い、関わり合う児童を育てる」という校 内研究主題と、「基礎学力の定着」「相手に分かりやすく説明するこ と」「多様な考えを出すこと」を重視し、授業改善に努める。
- ○各教科・領域にて言語活動をより充実させ、思考力・判断力・表現 力等を始めとした資質能力の育成を図る。
- ○区立南田中図書館を活用する計画を見直し、並行読書等の推進、読 書の質や読書量を向上させるなど、読書習慣および読書活動の充実 を図る。
- ○小中一貫教育では、近隣の授業公開や児童理解に関する情報交換を 行うことで、小中9年間を見通した系統的な指導を実践する。

道徳教育の指導の重点

- ・道徳的価値の意義や大切さの理解
- ・考え、議論する道徳への転換
- ・多面的・多角的に考える学習を 通しての自己理解、他者理解
- ・各教科等との関連性を明確にした 指導計画に基づいた補充・深化・ 統合

特別活動の指導の重点

- ・心身の調和のとれた発達と個性の伸長
- ・集団の一員としての自覚と望ましい人 間関係を築こうとする自主的・実践的 な態度の育成(特別支援学級との交流
- ・活動目標をつくり、その達成方法を話 し合って役割分担するなど、自己を生 かす能力や合意形成能力の育成

生活指導における指導の重点

- 基本的な生活習慣の定着
- ・学校いじめ対策基本方針に基づく いじめの未然防止・丁寧な対応
- ・教育相談の充実
- 安全教育の充実
- ・南田中翔小SNSルールの活用・更新

キャリア教育における指導の重点

- ・夢や希望、憧れる自己イメージを描き、 努力する態度の育成
- ・勤労を重んじ、自己の役割を果たす 態度の育成
- ・学習の見通しをもち、振り返る習慣の 育成

本 校 \mathcal{O} 授 業 改 善 に 向 け た 視 点

指導内容・指導方法の工夫

- 主体的、対話的で深い学び の視点から授業改善に努め る。
- ・ 算数は、1~3年は3展開。 4~6年は4展開による習 熟度別学習を実施する。
- 夏休み教室や放課後学習、 地域未来塾等を活用し、基 礎学力の定着を図る。
- 実物投影機やプロジェクタ 一等のICT機器を活用し た授業改善に努める。
- 授業におけるユニバーサル デザインを意識し、個に応 じた指導を行う。

教育課程編成上の工夫

- 他教科や行事等との関連を考えな がら、年間指導計画を立て、効果 的に学習できるように配慮する。 (カリキュラムマネジメント)
- 特別支援学級と通常の学級との交 流および共同学習を計画的に行 い、理解教育の啓発を図る。
- ・南田中図書館との連携を通して読 書活動を充実させたり、情報処理 能力の育成を図ったりする。
- ・調理員等とのランチルーム給食を 通して、食のマナーを学ばせる。
- 体力調査結果及び体力向上推進 プランを活用して、日常の体育授 業の改善を図る。

校内における研究や研修の工夫

- 外国語活動・英語科の研 究では「関わり合うこ と」を重視した授業づく りに取り組む。
- 人事考課制度の授業観察 を活用して、互いに授業 を見合い、授業力の向上 に努める
- ・ 日常的に授業を公開する とともに、教員相互の授 業参観を実施する。
- ・スクールカウンセラーに よる研修会を行い、児童 理解に努める。

評価活動の工夫

- 教育活動をPDCAサイ クルで常に評価・点検 し、改善策を検討する。
- 各教科・領域の指導計画 や評価計画を見直し、適 正かつ信頼ある評価に つなげていく
- ・学校公開等の保護者アン ケートの結果を次年度 の取組に反映させる。
- 学校関係者評価の課題を 明らかにし、次年度の教 育活動に反映させる。
- 全教員による自己評価の 結果を基に改善を重ね、 共通理解を図る

家庭や地域社会との連携の工夫 ・十曜授業を公開し、保護者が

参観しやすい体制を整える。

- ・地域の人材と連携・協働した 教育活動を推進する体制づ くりを進め、教育課程の中で 効果的に行えるようにして いく
- 幼保小スタートカリキュラ ムを実践し、交流活動等を通 して、互恵性のある連携が実 現できるよう努める。

小中一貫・幼保小連携教育の視点

- ・小中一貫教育では目指 す児童生徒の資質能力 を検討し、指導の改善 を図り、授業公開や協 議会等を実施する。
- ・幼保小連携教育では、 各教科等の学習に円滑 に接続できるようにス タートカリキュラムを 編成し、実施する。